

取組戦略1 柔軟かつ機動的な組織づくりと人材の育成・確保

○柔軟かつ機動的な組織づくり

- ・能登半島地震からの創造的復興及び被災者の生活再建を図るため、庁内の司令塔として能登半島地震復旧・復興推進部を設置するとともに、同部に、復旧・復興現地対策室を設置(R6)
- ・デジタル推進体制を強化するため、総務部内に県庁デジタル推進課・地域デジタル推進課からなるデジタル推進監室を設置(R6)

○多様で柔軟な働き方の推進

- ・全職員にテレワークシステムのライセンスを配付し、在宅勤務環境を整備(R5)

等

取組戦略2 県民の視点に立った行政サービスの提供

○県政に係る情報提供の充実

- ・知事記者会見を週1回程度開催し、施策の進捗状況などをタイムリーに発信
(R5:48回開催、うち1月～3月は23回開催 R6:19回開催 ※R6.9.3時点)

○県民との対話の充実

- ・知事が幅広い層の県民の生の声を直接聴き、施策の参考とするため、タウンミーティングを実施
(R5:4回開催、R6:状況を見ながら開催予定)

等

取組戦略3 財政健全性の維持・向上

○持続可能な行財政運営の推進

- 復旧・復興に係る財政需要のほか、社会保障関係経費の増加など、厳しい財政状況が見込まれる中、事業の選択と集中や効率的な執行を一層徹底

等

行政経営プログラム2020の概要

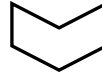
実施期間：令和2年度～令和6年度（5年間）

基本理念

限られた資源を最大限活用した、効率的・効果的な行政経営の推進
～コストを縮減しつつ、「質」に力点を置いた諸改革の推進による より質の高い県民本位の行政サービスの提供～

基本方針

行政コストを縮減する「量」の改革を継続しつつ、情報通信技術（ICT）の積極的な活用などにより、
効率的・効果的な行政運営に向けた「質」の改革を強化



3つの取組戦略

（1）柔軟かつ機動的な組織づくりと人材の育成・確保 【組織の改革】【職員の改革】

直面する様々な課題への対応や、長期構想の着実な実現に向け、効率的・効果的な施策展開を図るための組織体制を構築
また、質の高い行政サービスを提供するため、県民から信頼されるプロフェッショナルな職員づくりを推進するとともに、全ての職員が
活躍できる働き方改革を推進

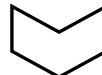
（2）県民の視点に立った行政サービスの提供 ～Society5.0時代にふさわしいスマート県庁の推進～

【サービスの改革】【業務の改革】

人口減少社会においても、ICTを使い効率的・効果的に行政サービスを提供する「スマート自治体」への転換に向けて、ICTを
効果的に活用することにより、県民サービスの利便性向上と業務の効率化を推進

（3）財政健全性の維持・向上 【財政運営の改革】

収支均衡にとどまることなく、引き続き歳入の確保や更なる行政コストの縮減に努め、将来の備えとして、必要な資金を基金に積み
立てるなど、財政健全性の一層の向上を推進



不断に実践

目標：より質の高い県民本位の行政サービスの提供